

吉田松陰と水戸

〈水戸史学叢書〉

仲田 昭一 著

「水府の学」「水戸学」の今日的意味を問う

第一部「他藩士と水戸」では、水戸にやってきた高山彦九郎が果たした影響、吉田松陰が学び得た水戸の学問、天狗・諸生の争乱とこれに参加した越惣太郎の役割、小宮山楓軒による諸藩と水戸藩との治政を比較した名観察等を紹介。

第二部「水戸藩至難の運命とその超克」は、水戸藩学中興を担った藤田幽谷の人柄、その子・藤田東湖の一面を紹介するとともに、水戸藩是「尊王敬慕」をめぐる苦悩と混迷の実態を回顧し、それを超克した例として根本正を紹介する。



定価：本体3,400円(税別)

企画：水戸史学会／発行：錦正社

平成27年7月発行／B6判・上製・カバー装・352頁

ISBN978-4-7646-0123-9

著者略歴

仲田 昭一 (なかた しょういち)

昭和41年3月 茨城大学文学部文学科卒業
昭和41年4月 茨城県立高等学校教諭
昭和62年4月 茨城県立歴史館主任研究員
平成5年4月 茨城県立歴史館学芸第二室長
平成7年4月 茨城県立太田第一高等学校教頭
平成11年4月 茨城県立水戸第一高等学校教頭
平成13年4月 茨城県立日立第二高等学校校長
平成16年3月 定年退職
平成17年4月 茨城県那珂市歴史民俗資料館長(嘱託)

*水戸史学会理事

*根本正顕彰会理事・事務局長

目次

序章 遊歴の益

第一部 他藩士と水戸

第一章 高山彦九郎と水戸

第二章 吉田松陰と水戸

第三章 越惣太郎と水戸

第四章 小宮山楓軒の陸奥紀行

——「浴隆奥温泉記」を中心に——

第二部 水戸藩至難の運命とその超克

第五章 藤田幽谷の人柄

——「幽谷遺談」ほかに見る——

第六章 藤田東湖と瓢兮歌

第七章 幕末水戸藩の混迷と領民

第八章 水戸藩至難の運命「尊王敬慕」「尊王攘夷」

第九章 水戸藩混迷の超克——根本正の出現——

終章 独立自存——攘夷は独立自存の道——

〔ご注文・お問い合わせ〕

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <http://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

錦正社(平成28年6月)

書店様番線

注文数

吉田松陰と水戸

仲田 昭一著

定価：本体3,400円(税別) (ISBN978-4-7646-0123-9)

冊

お名前

〒

ご住所

お電話

注文書